

平成20年度警察庁予算の概要

- 1 予算総額（案） 273,529百万円
- （平成19年度予算額 260,507百万円
前年度予算額との比較 13,022百万円（5.0%）
- （人件費 2,302百万円（2.3%）
物件費 10,719百万円（6.8%）
- 2 主な内容
- (1) テロの未然防止と緊急事態への対処態勢の強化 22,405百万円
- （ ・ 平成20年北海道洞爺湖サミット警戒警備等の実施
・ 大規模災害対策用資機材の整備
- (2) 深刻化する組織犯罪への抜本的な対策の推進 8,949百万円
- （ ・ 暴力団犯罪対策及び暴力団被害者対策の推進
・ 総合的な銃器対策の推進
・ 来日外国人犯罪対策の推進
- (3) 治安再生のための総合対策の推進 18,887百万円
- ア 安全・安心なまちづくりの推進 ~子どもの安全・安心を中心に~ 5,301百万円
- （ ・ 子どもを守る防犯ボランティア支援事業の拡充
・ 街頭緊急通報システム（スーパー防犯灯）等の整備
・ 少年の非行防止対策及び保護対策の推進
・ 振り込め詐欺等広域知能犯罪対策の推進
- イ サイバー空間の安全確保の推進 3,637百万円
- （ ・ サイバー犯罪対策の推進
・ インターネット・ホットラインセンターの充実
- ウ 被害者対策の推進 3,311百万円
- （ ・ 犯罪被害者等給付金の充実等各種施策の推進
・ 被害者対策用車両の増強

- エ 科学技術の活用 6,638百万円
- ・ DNA型鑑定基盤の強化
 - ・ 警察総合捜査情報システムの高度化
 - ・ 携帯電話発信地表示システムの整備
- (4) 安全・快適な交通環境実現のための施策の推進 27,223百万円
- ・ 交通安全施設等整備事業の推進
 - ・ 次世代安全運転支援システムの実証実験の実施
 - ・ 飲酒運転対策の推進
- (5) 警察基盤の充実強化 19,767百万円
- ア 警察活動基盤充実強化のための施策の推進 826百万円
- ・ IT活用等による警察力の質的強化のための各種モデル事業の実施
- イ 装備資機材・警察施設の整備充実 18,941百万円
- ・ 現場執行力強化のための資機材の整備
 - ・ 警察活動の拠点たる基盤施設の整備
- 組織改正
- ・ 組織犯罪対策部国際組織犯罪対策官の新設
 - ・ 外事課外事調整指導官の新設